

### 利府西中

## 毎朝のあいさつ欠かさず



### 全校一丸「運動」続ける

利府西中学校では、開校した2001年から現在に至るまで、「笑顔で礼を正してあいさつする」のスローガンのもと、朝のあいさつ運動を「欠かさず」行っています。この「欠かさず」には二つの意味があります。

一つ目は毎年行ってきたという意味です。新型コロナウイルスの影響でさまざまな行事が縮小される中、歴代の生徒会執行部を中心に元氣よく爽やかな朝を迎えられるようにと予防を徹底しながら行い、伝統を守ってきました。

二つ目は、1年間の学校生活を通して生徒全員が協力し、毎日行うという意味です。執行部だけではなく、各部活動、各委員会が交代で行うことで全校生徒が一丸となって活気あふれる学校を目指しています。

毎月1日と15日はあいさつ運動の日と称し、執行部に加え、多くの先生方にもあいさつ運動に参加していただき、取り組んでいます。

学年や立場に関係なく、あいさつが飛び交う雰囲気がこの学校の良さではないかと思えます。



あいさつ運動に励む生徒たち

編集委員 池口巧真、鈴木愛希、千葉陽彩、斎藤南緒 (2年)  
指導教員 山家涉

## わが校わがまち スクール通信



次回は  
松島二小 (松島町)  
茂庭台中 (仙台市)

## 輝く笑顔でチャレンジを

### 八乙女小

### 本年度スローガン三つ

八乙女小学校の本年度の児童会スローガンは「チャレンジキラリ ポカポカえがお」です。新しいことに挑戦して輝こう、温かな思いで関わり、周りを笑顔に変えようという願いが込められています。スローガン達成を目指して行った取り組みを紹介します。

一つ目は、たてわりあいさつデーです。「ありがとう」などの言葉が自然に交わされる学校を目指して行っています。二つ目は、学習発表会です。6年生は、見ている人も笑顔になるように「ありキラ輝いていきます。おとう」の気持ちを込めて演奏しました。

三つ目は、ポカポカえがおウィークです。4年生は、2年生に本の読み聞かせやクイズ大会を行いました。5年生は、真美沢公園の自然を知ってもらおうと、植物名の看板を作りました。看板を立てた5年生は「公園に人が植物にもっと詳しくなってくれたらうれし」と話していました。

八乙女小は、これからも仲間とともにいろいろなことに挑戦し、キラキラ輝いていきます。



### これがイチオシ

### 心温か「ポカポカの実」

八乙女小学校では「ポカポカの実」の交流をしています。「ポカポカの実」は、本年度のスローガンを達成するために作られた言葉の実です。実を交換することで、自分たちの学年だけでなく、他学年との関わりを増やす懸け橋にしたいという思いがあります。

二つの学年ごとに実の色や形が違うので、どの学年が書いてくれたのかが分かります。実を貼り付ける各学年の木には感謝の気持ちや挑戦をたたえる言葉、思ったことなどが書いてあり、心がポカポカしてきます。

学校名 仙台市立八乙女小学校  
所在地 仙台市泉区松森不動148  
創立 1981年  
電話 022(233)9698  
校長 小山 裕巳  
児童 514人



元気な声があふれるあいさつ運動(右上)、たてわり活動で遊ぶ子ども(右下)、学習発表会(左上)、真美沢公園での活動(左下)

編集委員 青柳珠蘭、内海慈太郎、鹿糠直弘、信太咲里、柴田羽菜、早坂拓真、船山望、村田拓真 (6年)  
指導教員 佐々木沙織、池田美智子、沢崎いずみ

### これがイチオシ

### キャップの回収で協力

利府町では、学校同士が協力して取り組むブラザーシップという活動があります。利府西中生徒会が企画し、近隣の2小学校と行った一つが「NBS(梨っ子ブラザーシップ)39学級対抗キャップ(ペットボトルのふた)回収大会」です。各学級で集めた重さを量り、一人あたりの数を出して回収率を競いました。後日、文化祭に両校の児童代表を招いて発表、表彰式を行いました。集まったキャップは計148.4キロ。途上国の子どものためのワクチン(約74人分)として活用されました。

学校名 利府町立利府西中学校  
所在地 利府町菅谷新洞風17  
創立 2001年  
電話 022(767)8080  
校長 小野 美和  
生徒 328人